



株式会社協和電気商会

<主な業務内容>

電気・消防施設工事業他

<KES 登録日>

2007年11月1日



今回お邪魔しました「株式会社協和電気商会」さんは、照国神社に程近い平之町(鹿児島市)にあり、小雨が降る日だったこともあり、鹿児島の中心部と思えないくらい閑静な場所でした。

お忙しいところを、時間をさいていただき、新名社長のお話を聞くことが出来ました。

まずは自分から

「省エネ・・・本当は使わないのが一番かな。環境に力を入れるのは結局、自分自身のため。eco活動は大切だけれども、アイデアを事業化しようとまでは考えない。」という話からスタート。

だからといって、何も取組んでいないわけではない。

LED導入も考えたが、明るさに乏しくて取り替えるまでには至ってないとのこと。センサーで周囲の明るさを感知し点灯・消灯をするものを、ご自宅で試していらっしゃるとのことです。これが果たして省エネに繋がるのか・・・外出先から帰るとセンサーが感知して、誰もいない時間から点灯していることも。

「一概に省エネ商品が良いともいえませんよ。」と会社で使用する前に、ご自分で試して取り付けるかを検討されていました。

確かに、新商品や話題のものをすぐに取り入れるだけでなく、まずは試してみて、良かったらお客様に紹介していくことは、とても大切なことだと感じました。

脱帽！

「これは、どうにか再利用出来ないかな」と手にされた沢山の封筒。

送られてきたさまざまな色・形の封筒を捨ててしまうのはもったいなくて、ずっと保管されている様子でした。



「裏返してまた封筒として使用する方法もあるけれども、相手が限られるし…」と、こちらも考えるだけでなく、再利用を実践されていました。

そして、驚いたのが社長自信の名刺。色、紙質が違うものを作成されていました。資料の表紙とか、要らなくなった厚手の紙を使って作成しているとのこと。

話の初めに「うちは記事になるようなものはないよ」とおっしゃっていましたが、この発想こそが、省エネ・省資源への大切な一歩だと思いました。

行き着く先は…

KES との出会いは、鹿児島電気工事業協同組合の方からの紹介。従業員の意識改革・教育につながり、環境活動が習慣になったことが良かったとのこと。

しかし、最近では削減活動に限界がきて、今後の取組みについて「日夜考えていますよ」と話される表情が、とても真剣でした。

今後の具体的な取組みとして、月1回の教育活動を目標設定することも検討中とのことでした。



話が変わり、現在社長が興味をもたれている「農業」の話に。

「今では、種子蒔きから収穫までやりますよ。週末は終日畑にいて、出来た野菜は近所の方に差し上げるんです。喜んでもらえます。自給自足までは行きませんが、年間を通じて季節の野菜を作っています。」と楽しんでいる様子でした。

更に、「肥料や害虫対策…いろいろ教わったり、勉強しながらです。プロの方のようにはいきませんが、人に教えたりするには10年かかるかな。」とあくまで本業に影響のない程度に、しかしそこは職業柄か1つの事を追究する姿勢がうかがえました。

省エネ・省資源に取り組むまた関連の商品を作る・使うのも当然大切なことです。

でも、「感謝の心」・「考え方」・「習慣」・「行動」がエコにつながるという新名社長様の考えに、今からの省エネ・省資源へ取り組む際の心構えを教わった気がします。

そして、「人に教える為には、まずは自分が試して実践することが大切ですよ」という言葉が、とても印象に残りました。

全てのお話の説得力があり、興味深い事ばかりで取材の時間も短く感じる程でした。

今回も貴重なお時間に、取材へのご協力いただき本当にありがとうございました。

武田